

赤城山景観ガイドラインの概要

(1) 基本理念

Akagi Well-Viewing

赤城ウェルビューイング

<質の高い景観体験がもたらす効果>

赤城山の価値である、美しい自然。赤城山の自然とともにある景観が、自然に敬意を払い、世界の来訪者に誇ることができる、将来にわたって継承すべき景観となることを目指します。

「質の高い景観体験」は、目の前の風景がより良いものになるだけでなく、赤城山の価値をつくり、赤城山を好きになってもらう人を増やす、自立した地域経済を得るなど、様々な効果が期待できます。

(2) 基本方策

1 「らしさ」を守る

赤城山らしさ＝長くあるもの



2 「地」をつくる

映えさせる景観、馴染ませる景観



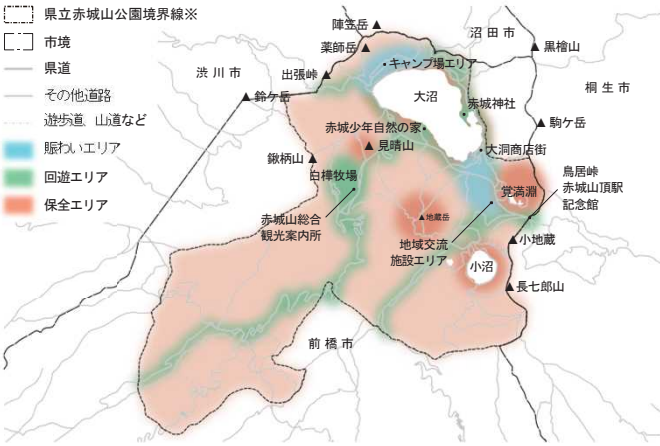
3 「まとまり」で演出する

赤城山の価値を、みんなで共有する



赤城山景観ガイドラインの概要

(3)対象範囲



賑わいエリア
体験と集客の中心となる2つの核
大洞商店街、キャンプ場エリア

回遊エリア
歴史・文化・観光施設の回遊動線
道路、立ち寄り施設周辺のエリア

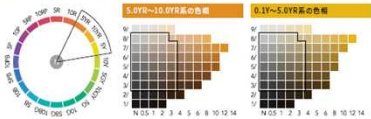
保全エリア
自然を守り、自然を楽しむエリア
視点場となる湖、山頂、遊歩道、山道

(5)デザインコード(一部抜粋)

自然景観を美しく見せる「地の色」の推奨色

● 建築物や工作物などは、「地の色」の推奨色を活用する

赤城山にある石や土、木の幹や枝などの色

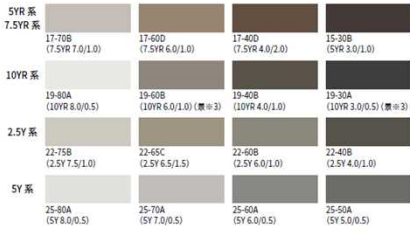


赤城山の自然景観の中で基調色となっている石や土、木の幹や枝などの色には以下のような特徴があります。

- ・色相(色合い)の範囲=YR(黄赤)～Y(黄)系に集中
- ・明度(明るさ)の範囲=中・低明度が中心
- ・彩度(鮮やかさ)の範囲=低彩度が中心

建築物外観・工作物の推奨色

色票表記は日本工業(JIS)およびマンセル値(Munsell)



建築物や工作物などを、赤城山の「地の色」と同じ範囲で取することで、まとまりや落ち着きのある印象をつくり、花の色、葉の緑、空や湖の色を美しく見せることができます。推奨色の中から赤城山の景観に馴染む使いやすい色を絞り込んだり、葉っぱなどの自然から抽出したより華やかな色をテーマカラーとして選び、サインやファニチャー等へ展開することも考えられます。

(4)対象物・対象行為

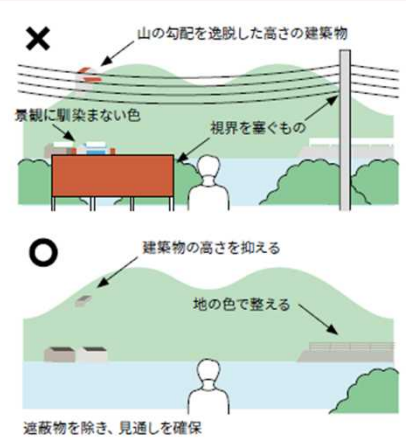


対象物	対象行為
建築物	新築、増築、改築、移転、修繕、模様替え、外観の変更
広告物	
工作物	
外構・車両施設	外観の変更
主要な眺望	
不要物	早急に除去

視点場からの見通しを守る

- 視点場から見える遮蔽物は除くなどして、視点場からの見通しを確保し景観を整える
- 視点場から見える建築物や広告物は、山の勾配を逸脱しない高さに抑え、推奨色にするなどして、自然景観に馴染ませるよう努める

山々から見下ろす眺め、湖上から見渡す眺め、湖へ見通す眺めは、赤城山の大切な価値として、みんなで守りましょう。



本ガイドラインの運用を通じて、赤城山の価値をより高める景観づくりに取り組んでいきます。